

健康便り

北区自治会連合会協賛回覧

第25号

・妊娠初期の流産を経験されたご夫婦に対するサポート

婦人科診療部長 堀内 功

・HOKUBUのなかみ (Vol.4放射線科)

・シリーズ健康生活 (10.ワクチン豆知識)

薬剤部 副薬剤部長 高橋 理子

・レスパイト入院のご案内



婦人科診療部長
日本産科婦人科学会産婦人科専門医、
日本生殖医学会生殖医療専門医、
日本人類遺伝学会、
日本遺伝カウンセリング学会臨床遺伝専門医

堀内 功



妊娠初期の流産を経験されたご夫婦に対するサポート

今回は妊娠中に見られる病気の流産のお話です。身の回りでも時折耳にすることのある病気ですので、皆様も本やマスコミなどを通して一度くらいはこの病名を聞いたことがあるのではないかと思います。

1. 一般的な流産の原因

わが国においては妊娠反応が陽性となった後、妊娠11週6日までを妊娠初期と呼びますが、この時期の流産の発生率は決して低いものではありません。全妊娠のうち約15%が流産になるとされ、妊娠における最大の合併症と言われています。流産の約50-70%に胎児の染色体異常がみられるとされます。染色体の本数はヒトでは46本ですが、流産では何番目の染色体が1本多いトリソミー型の染色体異常が最も多いとされます。22番の染色体が一本多かった流産の一例を図に示します。染色体異常のタイプにはその

他にもいくつか種類がありますが、中には全ての染色体が3セットある3倍体などの倍数性と呼ばれる異常が認められることもあります。すなわち流産の大部分は赤ちゃん側の原因で発症し、避けることが困難で止むを得ない状態ということが言えます。以前は妊娠中に気を付けなから流産になったなどと言う人がいて、流産が母さんのせいされることがありました。しかし前述のごとく実際には無理をすることかしないとかはあまり関係ないことが多いと言えます。ただし流産は女性の加齢とともに増加傾向が認められます。40歳を過ぎると妊娠反応が陽性となった後に超音波検査にて子宮内の妊娠が視覚的に確認される前に流産となってしまう生化学的妊娠を含めると全妊娠の半数近くが流産するという報告もあるほどです。近年の最初の結婚の晩婚化は高年妊娠(母体年齢が35歳以上の妊娠のことをこのように呼びます)の増加につながるため、個々の症例を見ると流産率が上昇する傾向があるのはやむを得ないといえます。そのため流産症例への対応の重要性はこれからも増すようになると考えられます。当院では流産を経験した方に接する場合、流産の原因に関する一般的な説明をすると共に、必要に応じて流産絨毛の染色体検査(赤ちゃんの染色体検査に当たります)を行った上で、ご夫婦共に精神的

サポートを行い、まずお二人の幸せを考慮した配慮をしております。

2. 不育症について

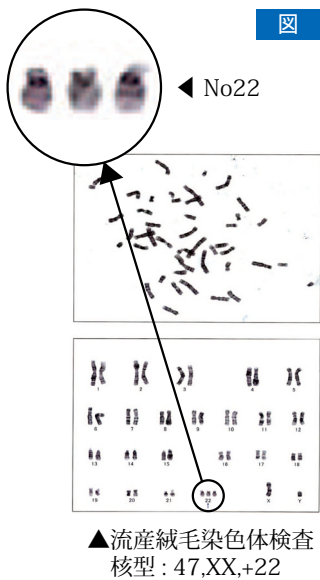
以上のように自然流産は決して珍しい病気ではありませんが、中には流産を繰り返し経験する人がいます。二回以上流産を繰り返す症例を不育症と呼びます。また連続した3回以上の流産を習慣流産と呼びますが、机上の計算では自然流産の頻度を10~15%とするとこれを3回繰り返す確率は0.3~0.4%と予想されるにも関わらず、実際の習慣流産の頻度は約1%と高いとされます。さらに既往流産回数が2回3回4回と進むと流産率も24、30、40%と高くなってゆくと言われ、流産予測の最も重要な因子は流産の既往であるとさえ言われています。

不育症の原因は非常に多岐に渡るためその病態も大変多様なものとなっています。当院や生殖医療を行っている近隣の産婦人科医院では子宮形態検査、抗リン脂質抗体検査、夫婦染色体検査、内分泌学的検査などの検査を行うことができます。実際に行う検査としては血液検査がほとんどですが、検査項目の中には自費の検査も含まれており、必要に応じて患者様と相談しながら検査を進めてゆくこととなります。抗リン脂質抗体症候群など、原因によっては治療法が定まっているものもあり、次回の妊娠で生児

が得られるために内服薬や自己注射を用いた治療を行うことが可能です。

3. 流産を経験された、または経験したご家族を持つ方へ

流産経験者は深い喪失感を持つと言われていきます。心配ことがある方、または心配事を持つ方がいるご家族の方は当院にてお話を承ります。必要に応じて他院と連携しながら診療を進めさせていただきますのでお気軽にご相談ください。



婦人科診療案内

●外来診療

基本的には予約制です。午前中は当院健康管理センターの業務のため外来診療開始時間がやや遅めになっています。健康管理センター業務中は婦人科受付も閉まっております。また木曜の午後は婦人科の手術日です。これらの時間帯では予約外対応にやや時間がかかることがあります。

かもしれませんが。ご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんがよろしくお願いたします。

月曜日 10時30分~12時 14時~16時
火曜日 11時30分~12時 14時~16時
水曜日 11時30分~12時 14時~16時
木曜日 10時30分~12時 14時~16時
金曜日 11時30分~12時 14時~16時

○女性医学分野…小児期~性成熟期女性の無月経、月経不順、月経困難症(月経痛)、月経前症候群(PMS)、などの疾患や、高年期女性の更年期障害、骨粗鬆症、骨盤臓器位置異常(子宮下垂や子宮脱)などの疾患、カンジダ膣炎などや外陰部のバルトリン腺膿瘍などの炎症性疾患、モーニングアフターピル(緊急避妊薬)の処方など

○婦人科腫瘍分野…子宮筋腫や子宮腺筋症、子宮内膜症、卵巣嚢腫、また子宮頸部の異形成など

○産科(周産期)分野…自治医科大学附属さいたま医療センターでの分娩を前提とするセミオープンシステムを利用した妊婦健診(妊娠初期~妊娠32週まで)

○生殖内分泌分野…不育症(流産を繰り返す疾患)

HOKUBUのなかみ

当院の「な」仲間「か」環境「み」
魅力について、各部署・院内の様子な
どを中心に紹介します。

Vol.4 放射線科

Q1 どんな仕事をしていますか？

放射線科は放射線科医1名、放射線技師女性4名、男性10名の合計14名で構成しています。1階の放射線科エリアに機器を集中させた機能的な配置となっており、健診車も含め17の機器を保有しています。一般撮影、CT、MRI、血管造影、健診部門などの部門別に専門性を生かした撮影業務を行っています。

また、従来CT・MRIの造影剤静脈注射（静脈路確保・造影剤投与・抜針・止血）は医師・看護師が行っていましたが、2021年10月から告知研修（厚生労働大臣が指定する研修）を修了した放射線技



CT撮影

師（有資格者）の業務として可能となりました。当院では早くから取り組んでおり、現在、告示研修を修了した10名の放射線技師が造影剤静脈注射業務に携わり、医師、看護師の業務負担の軽減に貢献しています。私たち放射線技師は高度な医療機器を駆使し、チーム医療の一員としてニーズに合った画像を提供する事は勿論のこと、患者さんに温かい医療を提供することも日々心掛けています。

Q2 今、イチ押し導入機器を教えてください

2025年1月中旬に、健診部門に新たに3Dマンモグラフィ装置が導入されました。当装置は従来の2次元の撮影に加え3次元のトモシンセシス撮影が出来るのが特徴です。

3次元トモシンセシス撮影は1回の撮影で連続的にX線を照射し、奥行き方向（3次元的）に細かくスライスした断層画像が複数枚得られます。わかりやすく言うと、色々な方向から見た画像を重ね合わせてパラパラ漫画のように観察できるイメージです。3D撮影を取り入れるこ



▲胃バリウム検査読影中

とで、従来乳腺に埋もれていて写らなかった病変の発見を向上させることができます。婦人検診のオプション検査として多くの方にご受診いただきたいと考えております。 ※準備が整い次第、外来や健診部門で運用を開始いたします。詳細は改めてお知らせいたします。

Q3 部署の雰囲気について！

穏やかなスタッフが集まりアットホームな雰囲気です。



10. ワクチン豆知識

薬剤部 副薬剤部長 高橋 理子



予防接種を受けることは、「ご自身そして周り」にいる大切な方々を感染症から守るための有効な手段のひとつです。皆さんはワクチンについてどんな知識・イメージをお持ちですか？特にコロナ禍以降、「ワクチン」は身近な話題となっていますが、分からないことも多いのではないのでしょうか。分からないことが多いと接種に対して消極的になりがちです。

そこで、今回はワクチン接種に関する疑問を少しでも減らせるよう、豆知識を紹介します。

● 予防接種の種類

感染症にはそれぞれ罹患し易い年齢および流行期間があり、国が積極的にすすめる市区町村が行う「定期接種（公費助成）」とそれ以外の「任意接種（自費）」があります。定期接種は対象者・対象年齢になると通知があるので見逃さないようにしましょう。任意接種に関しては、まずかかりつけ医に相談し、健康な時期を選んで計画的に接種しましょう。

● ワクチンの種類

「生ワクチン」「不活化ワクチン」「トキソイド」に大別されます。ここに、最近、新型コロナウイルスワクチンとして開発された新規のワクチン「メッセンジャーRNA（mRNA）ワクチン」「ウイルスベクターワクチン」が加わりました。当院で扱っている新型コロナウイルスはmRNAワクチンの「コミナティ筋注」（ファイザー）です。

● 接種間隔

注射生ワクチン（経口を除く）を接種後に他の注射生ワクチンを接種する場合のみ、接種間隔を27日以上空ける規定がありますが、それ以外の異なるワクチンの接種間隔（例えば注射生ワクチンと不活化ワクチン）に規定はなく、同

時接種も可能です。新型コロナウイルスとインフルエンザワクチンも同時接種可能となりました。

● 効果持続期間

ワクチンによってその持続期間は大きく異なります。規定回数の接種により抗体を獲得した場合、効果が30年以上持続するもの（B型肝炎ワクチン等）、5年程度続くもの（肺炎球菌ワクチン等）、5カ月程度で消えてしまうもの（インフルエンザワクチン）とまちまちです。ワクチンの種類に応じて追加接種を検討する必要があります。

● 1疾患に数種類のワクチン

ひとつの疾患・感染症に数種類のワクチンが存在する場合があります。製造メーカーが違うだけで中身はほぼ同じというケースもあれば、タイプの違うケースもあります。带状疱疹、肺炎球菌、新型コロナウイルスが後者に該当します。例えば、带状疱疹には、水痘ワクチン（生ワクチン）と带状疱疹ワクチン（不活化ワクチン）の2種類があり、状況に応じて使用します。当院でも両方の取り扱いがあります。

昨今、医療技術や新薬の開発が進み、治る病気も増えてきましたが、未だ根本的な治療法の

国内で使用可能なワクチン・トキソイド一覧（2024年12月現在）

生ワクチン	ウイルス	MR（麻しん・風しん混合）、麻しん※1、風しん※1、おたふくかぜ、水痘・帯状疱疹、黄熱、ロタウイルス※2（1価・5価）、痘そう
	細菌	B C G
不活化ワクチン	ウイルス	日本脳炎、インフルエンザ、狂犬病、A型肝炎、B型肝炎、ヒトパピローマウイルス（2価・4価・9価）、ポリオ（IPV）、帯状疱疹、RS、新型コロナ
	細菌	DPT※3、肺炎球菌（23価多糖体・20価結合型）、インフルエンザ菌b型（Hib）、髄膜炎菌（4価結合体）
	細菌・毒素・ウイルス	DPT - IPV（4種混合）、DPT - IPV - Hib（5種混合）
トキソイド	毒素	ジフテリア、破傷風、DT（ジフテリア・破傷風混合）
mRNAワクチン	ウイルス	新型コロナ
ウイルスベクター	ウイルス	新型コロナ

※1 現在、供給停止中 ※2 経口ワクチン ※3 DPT:ジフテリア・百日せき・破傷風（3種混合）

ない病気もあります。そう思うとワクチンがあるものはワクチンできちんと予防しておきたい、というのが私の考えです。みなさんはいかがですか？

最新トピック

帯状疱疹ワクチンの定期接種化

これまで任意接種だった帯状疱疹ワクチンが、2025年4月から定期接種としてスタートする見込みです。対象は65歳時の1回のみですが、経過措置として2029年度までは70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳時にも接種可能です。接種にあたっての注意点は、使用可能なワクチンが2種類あるため、どちらか一方のワクチンを選択しなくてははいけないことです。2種類のワクチンの違いを表に示しましたので、参考にしてください。

なお、さいたま市の具体的な助成内容については、2025年1月22日現在まだ公表されていません。接種を検討する際は、自己負担額等の詳細をさいたま市保健センターにてご確認ください。



初期症状は皮膚の痛みやかゆみ、その後に発疹や水ぶくれが帯状に現れる皮膚疾患ですが、眠れないほど痛むこともあり、さらに厄介なのは皮膚の水疱が消えてからも長期間に渡り痛みが残る「帯状疱疹後神経痛」になる恐れがあります。

帯状疱疹は、子どもの頃に水痘（水疱瘡）にかかり、治癒したあとウイルスが体内の神経節に長期間潜伏し続け、そのウイルスが加齢や疲労によって免疫力が低下した際などに再活性化することによって発症します。日本人成人の90%以上がこの原因ウイルスを持っていて、50歳以上になると発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が罹患するといわれています。

“帯状疱疹ってどんな病気？”

名称 (製造メーカー)	乾燥弱毒生水痘ワクチン 「ピケン」(阪大微研)	乾燥組換え帯状疱疹ワクチン シングリックス (GSK)
ワクチン種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種方法	皮下注射	筋肉注射
接種回数	1回	2回(2ヶ月間隔)
発症予防効果	1年後で60～70%程度 5年後40%前後	1年後で97.7% 10年後で73.2%
帯状疱疹後神経痛 予防効果	65%程度	90%程度
効果持続期間	5年程度	10年以上
任意接種費用	9千円程度	計4万5千円程度
さいたま市助成額	未定	未定
備考	免疫機能が低下している人や免疫抑制剤を使用している人には接種不可	免疫機能が低下している人でも接種可能

レスパイト入院のご案内



レスパイト（respite）とは、「休息」「息抜き」という意味です。レスパイト入院とは、ご自宅で常に医療的管理が必要な療養生活を送っていらっしゃる患者さんに一時的に入院していただく制度です。介護者の負担軽減を目的としており、医療保険が適用されます。

JCHOさいたま北部医療センターは、“在宅で介護をされている家族の

支援”を推進するため、地域包括ケア病棟でレスパイト入院を受入れていきます。

ご家族が休息をとる、ご家族が冠婚葬祭に出席するために不在になる、ご家族が入院する時などにご利用いただけます。

入院の対象になる患者さん

- ① 医療的処置が必要であるため介護保険のショートステイの利用が困難な方
- ② 体調が安定しており、レスパイト入院の設定期間内に自宅へお戻りいただける方
- ③ 当月にレスパイト入院を利用していない方
- ④ 地域包括ケア病棟への入院期間（他院・当院での入院を含め）が通算で60日間をこえる場合は、最終の退院日から3カ月以上経っている方

ご注意事項（治療目的の入院ではないので以下の点にご注意ください）

- ① 1回の入院期間は1泊2日〜13泊14日です（延長が必要な場合はご相談ください）。
- ② 入院中に治療・検査等はありません。

③ 内服薬、点眼薬・軟膏・湿布などの外用薬、インスリンなどの自己注射薬、栄養剤、胃瘻・ストマなどの医療材料やオムツなどはご持参ください。

④ 利用開始日（入院日）は平日のみにてお願いしております。

レスパイト入院のお申し込み方法

かかりつけ医、もしくは担当ケアマネージャーを介してお申し込みいただけます。

レスパイト入院に関するお問い合わせ
さいたま北部医療センター 地域医療
連携室

電話 048-653-7858



※写真は個室のお部屋です

【発行】さいたま北部医療センター

〒331-8625 埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目851

☎ 048-663-1671（代表）

平日（月曜～金曜）8：30～17：00

受診をご検討されている方のお問い合わせは、各診療科受付にお繋ぎいたします。

※ 8：30～9：00頃と、15：00～16：30頃はお問い合わせが多く、電話がつながりにくい可能性がございますのでご了承ください。



さいたま北部医療センターホームページ
<http://saitamahokubu.jcho.go.jp>

※上のQRコードから、健康便りのバックナンバーをご覧いただけます。